

■ ネーミングライツ

岐阜大学の施設等の愛称を決定する権利である命名権を付与し、その対価として命名権料をいただく事業。地方公共団体等における公共施設でさかんに行われていたが、近年、国立大学法人でも導入が始まっている。

企業等においては、学生、教職員をはじめとする9千人以上の構成員を擁する岐阜大学において日常的に使用される愛称を設定することで、新たな広告宣伝効果を狙うことができる。

図書館1階アカデミック・コア「Sky ACADEMIC CORE」

取扱企業：Sky株式会社

付与期間：2023.10.1～2027.9.30

図書館1階

岐阜大学生が自主学習するための空間。自主ゼミや読書会、グループで宿題に取り組み、おしゃべりしながら勉強し、より深く、より広く学べる場所（スペース）である。



全学共通教育棟1階多目的ホール「IBIDEN Innovation Hub」

取扱企業：イビデン株式会社

付与期間：2024.4.1～2029.3.31

全学共通教育棟1階

学内最大の講義室で固定式の机、椅子、大型スクリーン、プロジェクター、最新音響設備を完備している。学内イベント（就職関係）も各種開催される。



Tokai Open Innovation Complex 岐阜サイト「OKB岐阜大学プラザ」

取扱企業：株式会社大垣共立銀行

付与期間：2024.4.1～2034.3.31

共同研究等による企業の活動拠点、スタートアップの活動拠点、新たなオープンイノベーションを創成する産学交流拠点の3つの役割を担う拠点として、2023年度にTokai Open Innovation Complex 岐阜サイト（愛称：OKB岐阜大学プラザ）を整備した。名古屋大学に整備される、同機能を持つTokai Open Innovation Complex 名古屋サイトとも連携しながら、先端材料、カーボンニュートラル、デジタルトランスフォーメーションに関連する共同研究の組成や大学発スタートアップの創出支援を行うとともに、地域の企業や金融機関、アカデミア、行政機関等の多様なステークホルダーとの交流・対流により新たなイノベーションの創出を促進する。

